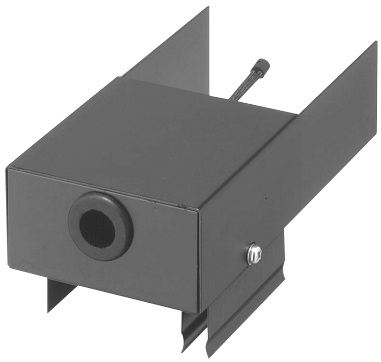
DSV10
吸い込み口取付形温度検出器

概　　要

DSV10温度検出器は，空調設備の温度制御に使用される検出器です。

DSV10は，システム天上のT字形部材（ダブルTバー）に簡単に取り付けられるワンタッチ形を採用していますので，室内に温度検出器を設置することが難しい室内温度制御システムには最適です。このワンタッチ形は，新設・移設時の取り付け・取り外し作業を容易にさせ，付帯工事の削減および取付費の低減を実現させます。

本器は，ディジタル調節器と組み合わせて使用します。



DSV10

仕　　様

形　　名：DSV10
測 温 素 子：シリコンセンサ
温度検出範囲：－15 ～ 60℃
規 準 抵 抗：1035 Ω（25℃において）
温 度 特 性：正特性（PTC）
温度検出精度：± 0.5℃（－15 ～ 60℃）
　　ただし，0 ～ 30℃範囲では± 0.4 ℃
絶 縁 抵 抗：100M Ω以上（500V DC メガー）
耐　電　圧：500V AC 1分間
適用ケーブル：CVVS1.25□－2C 相当
接 続 方 式：2-M3.5 × 7
材　質，色：ケース；冷間圧延鋼板，黒色メッキ
取付タイプ：ワンタッチ形
保 存 温 度：－20 ～＋70℃
質　　量：0.16kg

コード番号

ご注文の際は，「形名＋仕様コード」，すなわちコード番号を指定してください。

形　名	仕様コード	内　容
DSV10	……	温度検出器
温度検出範囲	－10……	－15～60℃
スタイル	＊A ……	スタイルA（A99タイプ）

取り扱い

1. 製品が届きましたら

DSV10温度検出器がお手元に届きましたら外観の確認を行い，損傷のないことをご確認ください。また，本体に有る製品銘板に記載されているコード番号がご注文どおりであることをご確認ください。

2. 取り付けに際しての注意

取付場所は計測結果に大きな影響を与えますので，選択には十分注意してください。

- 空気の循環が制限されない場所で平均温度を検出できる位置に取り付けてください。
- 温湿度の外乱が激しい所，輻射熱の影響のある場所は避けてください。
- 端子ケースに水滴がかかる所，結露する場所を避けてください。
- アセトン，ホルマリン，亜硫酸ガスなど有機性ガスを含む雰囲気中では，絶対に使用しないでください。
- 動作の確認・保守が容易にできるよう，作業空間を充分とれる場所を選んでください。また，二重天井の場合，点検口の設置およびその位置についても考慮してください。

3. 取付手順

取り付けは，次の手順で行います。

① 取付場所を決め，その付近のリターン用スリットを選びます。
（注）施工前に，T字形部材（ダブルTバー）の間隔がDSV10の取付寸法と一致することを，確認してください。

② DSV10のカバーを外し，配線用開口からケーブルを通した後，結線を行います。
（注）カバーは，カバー止めネジを少しゆるめるだけで，簡単に取り外せます。また，カバーを外す際，カバー止めネジを紛失しないように注意してください。

③ カバーを取り付け，固定します。

④ リターン用スリットのシステム天井用T字形部材（ダブルTバー）の一方にDSV10の係止部を差し込み，設置します。この際，他方のT字形部材の内側に内接してDSV10のガイド部が堅固に止まり，本体がしっかり固定されていることを確認してください。

⑤ 取り付け後，DSV10の感温素子がリターン用スリットの真上に位置していることを確認します。

© 2002 Johnson Controls, Inc.

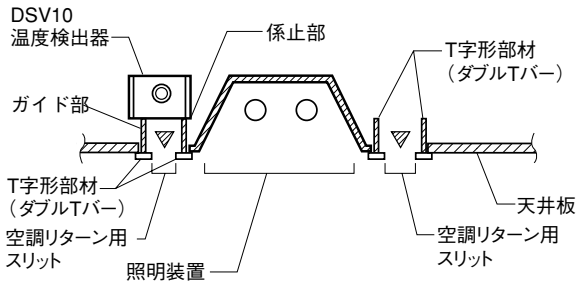


図1. 取り付け

4. 結　線

(1) 配線は，電源配線や誘導電圧を発生する他の配線と分けてください。

(2) 配線にはシールドケーブル（CVVS1.25□－2C，または相当品）を使用してください。

⚠注　意

・電気設備技術基準に準じてください。
・結線する前に，ディジタル調節器の供給電源を切ってください。

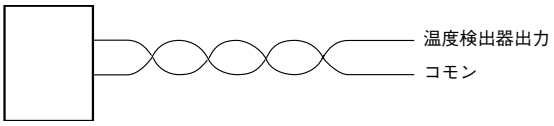


図2. 結　線　図

(3) DSV10 の感温部は，温度変化を抵抗出力に変換します。表1 に DSV10 の温度－抵抗換算表を示します。

表1. 温度－抵抗換算表

温度(℃)	抵抗値(Ω)	温度(℃)	抵抗値(Ω)
－15	758	25	1035
－10	789	30	1074
－　5	822	35	1113
0	855	40	1153
5	889	45	1194
10	924	50	1236
15	960	55	1279
20	997	60	1323

5. 調整，点検

取り付け，および結線後，システムを作動させ動作確認を行ってください。

注　記

・DSV10は，制御用温度検出器としてのみご利用ください。（計測用検出器として適用しないでください。）
・DSV10の温度検出出力は，該当する空気調和システムが駆動している時のみ適用可能です。
システム停止時，空気流れが停滞するため，室内温度とリターン用スリット部（天井内）温度は異なります。制御システムに支障がでないように，この点をご検討ください。
・照明装置からの発熱による影響は，DSV10の遮熱板で対応していますが，動作確認後，検出温度に誤差が認められる場合には，取付位置を再検討してください。
・本体取り付けの際，ケーブルが引っぱられ，結線圧着端子部に過度の力が加わる場合があります。このため，結線後，配線用開穴の前後で本体とケーブルを固定してください。

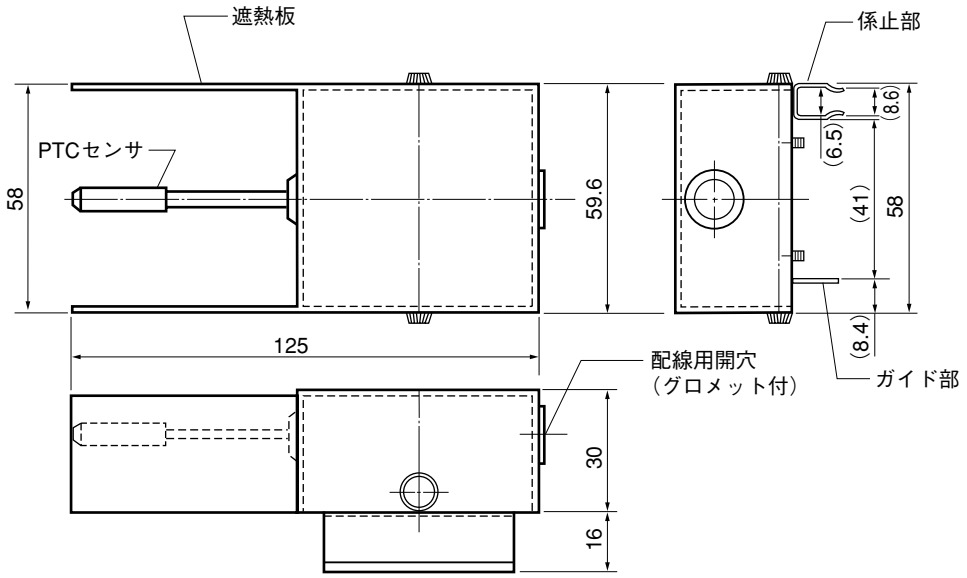
修理・お問い合わせ

万一故障を生じた場合，お買い上げの当社本支店，営業所にご連絡ください。フィールドでの分解，修理は行わないでください。

また，この製品についてのご意見・ご質問は，もよりの当社，本支店・営業所へお申しつけください。

外形寸法

単位：mm



⚠ 安全に使用するためのご注意

- ご利用の前に取扱説明書をよくお読みの上，正しくお使いください。
- 安全のために本製品の取り付け・結線は電気工事，計装工事などの専門の技術を持つ方が行ってください。
- この製品は，人命に関わるような状況下で使用される機器，あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製造されたものではありません。
- 本機器の故障や異常がシステムの重大な事故を引き起こす場合，事故防止のために外部に適切な保護回路を設置してください。
- 当社サービスマン，もしくは認定された人以外，機器内部にふれないでください。

Johnson Controls

ジョンソンコントロールズ株式会社
www.johnsoncontrols.co.jp

Printed in Japan